

平成25年度公金運用の実績について

平成25年度の公金の運用実績を取りまとめましたのでお知らせします。

1. 全体

平成25年度			平成24年度		
平均資金残高	運用収入	平均利回り	平均資金残高	運用収入	平均利回り
30,572 百万円	41,329 千円	0.135%	30,900 百万円	37,838 千円	0.122%

平均資金残高は約3億円減少しましたが、平均利回りが上昇したため、運用収入が約3,491千円増加しました。

2. 内訳

(1) 一般会計、特別会計等

① 歳計現金等

	平成25年度				平成24年度			
	平均資金残高 (百万円)	構成比(%)	運用収入 (千円)	平均利回り (%)	平均資金残高 (百万円)	構成比(%)	運用収入 (千円)	平均利回り (%)
普通預金	1,534	20.0	306	0.020	2,012	27.5	400	0.020
定期預金	1,113	14.5	1,439	0.129	—	—	0	—
債券	4,561	59.3	3,150	0.069	3,949	54.0	3,697	0.094
その他	476	6.2	174	0.037	1,350	18.5	675	0.050
計	7,684	100.0	5,069	0.066	7,311	100.0	4,772	0.065

平均資金残高が約3億円増加したことに加え、平均利回りも微増したため、運用収入が増加しました。

② 基金

	平成25年度				平成24年度			
	平均資金残高 (百万円)	構成比(%)	運用収入 (千円)	平均利回り (%)	平均資金残高 (百万円)	構成比(%)	運用収入 (千円)	平均利回り (%)
普通預金	1	0.1	0	0.00	4	0.1	1	0.025
定期預金	2,756	21.3	4,459	0.162	1,757	12.4	1,803	0.103
債券	8,092	62.4	20,033	0.248	9,824	69.2	18,875	0.192
繰替運用	2,100	16.2	1,334	0.064	2,603	18.3	2,481	0.095
その他	—	—	0	—	—	—	0	—
計	12,949	100.0	25,826	0.199	14,188	100.0	23,160	0.163

平均資金残高が約12億円減少しましたが、平均利回りが上昇したため、運用収入が増加しました。

(2) 企業会計

① 水道事業

	平成25年度				平成24年度			
	平均資金残高		運用収入 (千円)	平均利回り (%)	平均資金残高		運用収入 (千円)	平均利回り (%)
	(百万円)	構成比(%)			(百万円)	構成比(%)		
普通預金	281	8.7	56	0.020	348	9.7	69	0.020
定期預金	—	—	0	—	—	—	0	—
債券	2,663	82.0	4,038	0.152	2,763	77.1	4,852	0.176
その他	301	9.3	102	0.034	471	13.2	235	0.050
計	3,245	100.0	4,196	0.129	3,582	100.0	5,156	0.144

平均資金残高が約3億円減少し、平均利回りも低下したため、運用収入が減少しました。

② 下水道事業

	平成25年度				平成24年度			
	平均資金残高		運用収入 (千円)	平均利回り (%)	平均資金残高		運用収入 (千円)	平均利回り (%)
	(百万円)	構成比(%)			(百万円)	構成比(%)		
普通預金	349	15.9	70	0.020	355	16.9	70	0.020
定期預金	—	—	0	—	—	—	0	—
債券	1,174	53.5	849	0.072	1,090	51.8	1,080	0.099
その他	673	30.6	235	0.035	659	31.3	327	0.050
計	2,196	100.0	1,154	0.053	2,104	100.0	1,477	0.070

平均資金残高は微増となりましたが、平均利回りが低下したため、運用収入が減少しました。

③ 病院事業

	平成25年度				平成24年度			
	平均資金残高		運用収入 (千円)	平均利回り (%)	平均資金残高		運用収入 (千円)	平均利回り (%)
	(百万円)	構成比(%)			(百万円)	構成比(%)		
普通預金	430	9.8	88	0.020	668	18.0	133	0.020
定期預金	730	16.2	2,310	0.316	537	14.5	652	0.121
債券	3,207	71.3	2,555	0.080	2,510	67.5	2,488	0.099
その他	131	2.9	131	0.100	—	—	0	—
計	4,498	100.0	5,084	0.113	3,715	100.0	3,273	0.088

平均資金残高が約7億円増加したことに加え、平均利回りが上昇したため、運用収入が増加しました。

説明

- ・「歳計現金等」とは、一般会計及び特別会計に属する歳計現金並びに歳入歳出外現金である。
- ・「基金」とは、特定の目的のために積み立てた資金または定額の資金を運用するために設けられた資金のことをいう。本市では「財政調整基金」、「市民協働推進基金」、「福祉振興基金」等、22の基金を設けている。
- ・「債券」とは、国債、地方債、政府保証債、国庫短期証券(TDB)をいう。
- ・「繰替運用」とは、基金から歳計現金等への繰替え貸しのことをいう。
- ・「その他」欄には、譲渡性預金（1ヶ月未満）による運用及び他会計貸付金を記載している。
- ・平均資金残高＝延べ運用額÷365日
- ・平均利回り＝運用収入÷平均資金残高×100